



無所属39歳



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索  
住所 野比2-13-18 f t BLOG  
Fax 046-801-2177  
移動事務所 ☎ 070-6640-3927  
✉ info@kobayashinobuyuki.com  
Web http://kobayashinobuyuki.com  
野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。  
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル  
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の  
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験  
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市  
長)公設秘書として修行し、2011年4月より  
横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事  
務局長など、市民活動にも関わる。

## 第一特集 横須賀ハコモノ白書 第三弾

# 「減らす」から「活かす」へ。 ハコモノ問題の発想転換

## 第二特集

# 追浜田浦みらい計画!

## 第一特集 「減らす」から「活かす」へ。ハコモノ問題の発想転換

今までの「横須賀ストーリー」～なぜこうなったか～

横須賀市は、今までずっとハコモノ大好きでした。かつては、右肩上がりで人口も税収も増えていたので問題ないと思ってました。ハコモノをつくれれば、市民サービスも増えるし、市内に仕事も増えて、みんな喜ぶます。だから市も「つくることはいいことだ」と思って、せっせとつくりました。

- 福祉のために、総合福祉会館を建設
  - 勤労者のために、勤労福祉会館を建設
  - 青少年のために、青少年の家を建設
  - 産業振興のために、産業交流プラザを建設
  - 地域のために、各コミュニティ・センターを建設
- ……という具合に色々建ててきましたが、「〇〇のため」と言いながら、ハコの中身は要するに会議室やホールなどの貸館でした。その結果、私が第9号「横須賀ハコモノ白書 第一弾」で初めて明らかにしたように、貸館が市内に約300室もあり約2万人を収容できるなど「ハコモノ過剰」になってしまったのです。当然、稼働率が満足度も低くなります。

例えるなら、ローンを組んで離れを増築したのに、一緒に住むつもりの子供や孫に出ていかれ(人口減少)自分もリタイアしたら年金が少なく(高齢化&税収減)、借金(市債)を返すのも苦しくなってきた。しかも、そのうちに母屋も修繕が必要になり、また借金しなきゃいけない。だけどこれ以上借りたら、本当に返せなくなって破産してしまいそう……。



30%減らせば、やりくりできそう

こんな状況が、なんとなくわかってきました。でも、どんなハコモノが、どこにどのくらいあって、いつごろ寿命が来るのか、把握できていませんでした。

そこで、私や他の議員が『施設白書を作って!』と何度も訴えた結果、ようやく市も重い腰を上げて、2013年に完成。これで全体像がつかめました。

これをもとに計算してみたところ、「全部は建て直せないから30%削減すればなんとかやりくりできそうだ」ということがわかりました。

17%で大丈夫なの? しかも夢のないリストラ計画

じゃあ、どれを残して、どれを廃止するのか? 財政部が色々考えて「こんな計画でどうでしょう?」と『施設配置適正化計画』案というものを8月に作成しました。しかし、がんばって作ったこと自体は評価しますが、この案には大きな問題がありました。

(1)とりあえず17%だけの削減案……。

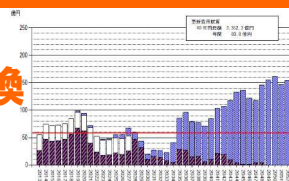
残りは「努力して何とかします!」と言うのですが、何をどうするかは「これから考えます!」という始末。

(2)メリハリなく、全体に少しずつのリストラ計画……。

市民にメリットの薄い施設は大幅カットし、将来のために必要な施設はむしろ充実させる位の大胆さが必要。希望がない計画では納得されません。

「減らす」から「活かす」へ。発想を転換しよう!

離れを土地ごと売る前に、母屋でなく新しい離れに住んでは? 離れを誰かに貸して母屋を修繕しては? 従来型でない発想の構想をご覧ください! →



↑払える限度の赤い線は30%オーバー!



イラスト提供 わんぱぐ http://wanpug.com/





市の案がダメなら、どんな案がいいのか? そこで、市全体の『横須賀みらい計画』をつくってみました。

そのうち追浜・田浦の分をご紹介します。

## 行政センターは中学校に併設!

**田浦行政センターは、いざ大津波が襲えば県の予測では被害を受ける**場所にあります。また今後、マイナンバー制導入に伴い窓口業務も不要となっていくため田浦中と追浜中の空き教室に2つの行政センターを移転します。また、災害時に避難所になるのは主に学校。そこに司令塔を置けば迅速に対応できます。



## 地域コミュニティの中心を小学校に!

次に、多すぎる貸館系施設のひとつであるコミュニティ・センターと青少年の家をどうするか? 私は、「**小学校こそが地域コミュニティの中心**」だと考えます。そこで、小学校の空き教室等を活用して集会所とし、今よりも身近な場所で集まれるようにします。代わりに追浜小・田浦小の廃校はなるべく避けます。

ただし、学校の先生に貸館業務までやらせるわけにはいきませんから、コミュニティ・センターの館長を1校に1人ずつ配置します。この職員は学校施設の管理も行い、災害時には避難所運営もします。

※ちなみに少子化のため市内ほぼ全校に余裕教室があります。

こうした案を全市で積み上げた『横須賀みらい計画』をまとめました。市民サービスを維持・向上しながら、施設もなんと30%以上削減できる案です。

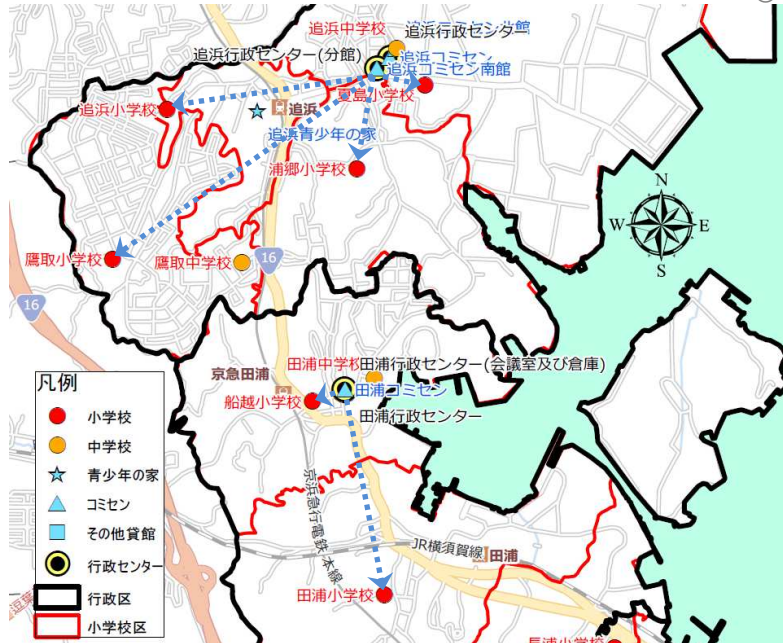
この計画を、市民のみなさんと議論しながら、さらに練り上げたいと考えています。ぜひ一緒に!

## 中学校をスポーツ・文化の拠点に!

実は、全国の**先進的な中学校**には**スポーツクラブが併設され、部活も専門の指導者が担当**しています。学校と部活の分離です。

一方、横須賀では現在、学校選択制で部活のために遠くまで通う生徒も増えており、**地域コミュニティが弱くなると心配**されています。しかし、各校に全ての部活を揃えるのはムリなので追浜中・鷹取中・田浦中の3校で一式揃えます。中学校同士で役割分担し、冬でも使える温水プール、照明付のテニスコート、サッカー場、野球場、武道場や、吹奏楽・軽音楽などの設備を一式備えます。そして、学校は地元の中学に通い、放課後は近隣の中学に部活に行くわけです。

部活以外の時間帯は、充実した施設を使って地域住民が存分に健康づくりと文化活動を楽しみます。



↑愛知県半田市立成南中学校に併設のスポーツクラブが運営する体育館「クラブハウス」

## 第6回「横須賀ハコモノ研究会」のご案内 考えよう! みんなの計画・みらいの計画

このたび、全国で優れた取り組みをしている政治家を表彰する「**マニフェスト大賞**」で、**受賞しました!**

3年連続の受賞は横須賀で初。全国でも珍しいようです。最初の受賞が「ハコモノ研」の活動でした。その後、回を重ね今回で6回目を迎えます



TVでおなじみの北川元知事と→

- 日 時: 12月14日(日) 13:30~16:00
- 場 所: 産業交流プラザ 第二研修室 (汐入駅1分)
- 資料代: 100円
- 申 込: 不要(ただし連絡頂いた方には確実に資料を用意します)

- 市の施設リストラ計画。どんな内容なのか?
- 「ハコモノ研」が招いてきた講師の話から考える。市の計画はどこが問題なのか?
- ワークショップで練り上げる『横須賀みらい計画』という内容で実施したいと思います。お待ちしております!

## 応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は  
頂いていません。



## 小林のぶゆきの基本政策

**見える** 誰が何をどう決めてるのか  
ぜんぜん見えない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

**わかる** 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

**変わる** これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。

必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

